



# れんげ

第149号 令和3年 9月1日 発行

一製作・発行一

## (宗) 仙寿院

〒026-0022  
岩手県釜石市大只越町2-9-1  
TEL 0193-22-1166  
FAX 0193-22-1150  
ホームページ http://senjyuin.info/  
E-mail : senjyuin@juno.ocn.ne.jp

## 九月の行事 『秋彼岸』

法華經の第二十五番目『観世音菩薩普門品』に説かれている人々の最も近くにいらっしゃる仏様（菩薩様）を観世音菩薩（観音様）と言います。この菩薩様は、人々の悩み苦しみから救われたいとの声を聞くと直ちに救済するために、救う相手に合わせ、または救う要件に合わせて姿を現わすと言われています。ですから様々な姿があるのです。当山では、生まれなかつた子や生まれて直ぐに亡くなつた子供たちと、その親の苦しみを救うために、『仙寿観世音菩薩』という名で水子観音様をお祀りしています。秋の彼岸はその仙寿観音様の縁日です。



秋のお彼岸のご案内です。

お盆で供養したのだからと考える人が多いと思いますが、お盆の供養は先祖のため、これを化他行（人に対する行い）と云います。彼岸の供養は自行（自分の修行としての行い）といって普段できない自分のための行いです。お盆の時に出来なかつた霊位、特に水子や大事だつた動物にも供養しましょう。

### ◆秋彼岸の法要のご案内

《日時》 九月二十三日（秋分の日）

午後一時より

《法要》 秋彼岸会塔婆供養大法要

《法話》 住職上人

《参拝》 水子救子 『仙寿観音』参拝

☆塔婆の申し込みは、当日では混雑しますので、二十日までにお願いいたします。別紙の申込用紙をご利用下さい。

檀家・信者・宗旨を問わず、どなたでも供養できます。電話・FAX・メールでも受け付けます。ご先祖だけでなく供養したい霊はすべて供養することができます。特に水子さんがある方は忘れずに供養して下さい。あなたになさらないと水子霊は供養されませんよ。



# コロナ禍のお盆施餓鬼法要・流灯会無事開催！



迷いに迷ったコロナ禍のお盆でした。しかしながら檀信徒皆様の深いご理解から無事に行うことができました。

写真(右)はお盆の施餓鬼塔婆法要の様子です。お手伝いいただいたお上人様方も、コロナではないことを証明する検査を受けた上で、皆様のご家庭を伺い、法要でも安心して大きなお声でお経を唱えられていました。

灯籠流しも無事に流し終わり夏の行事が滞りなく終了いたしました。

写真(左下)では、小さなお子さんが合掌して灯籠を見送っていた姿がありました。コロナが怖いといって家から出ようとしない大人は学ばねばいけません。



## 【墓参のゴミについて】

ごみ箱を設置しておりますが、ゴミをそのまま捨てていく方が多く困っています。

お墓のゴミは基本的には持ち帰っていただきますが、止む無く置いていかれる方はせめてビニール袋に入れて下さい。

ゴミ処分の費用や作業をする方々のご苦勞をご理解下さい。

## 【墓地のお花について】

昨今墓地にお花をあげても次日には無くなっていると苦情がありました。これは人の仕事ではありません。鹿の食害です。中には生花をあげても直ぐに無くなることから、造花をあげても良いかと問い合わせがありました。本来生花ですが、常時あげるものには食害を考慮して造花でも良いと思われれます。

**お知らせとお願ひ**



紙上法話 《院首執筆「園林」より》

「功德」

今の私たちの生活は計り知れない知恵で成り立っている。パソコン・エアコン・携帯電話等々、インターネットの世界には国境がない。しかしそれを活用する人も自分の死は防げない。

病気やコロナで死ぬ、ケガや災難で死ぬ、不注意で死ぬ等と実に脆いものである。

自然災害や交通事故等外から来るものは防ぎようがない。

それで亡くなった人に、運命と言っても死んだ本人にはやり切れない。

そこで予め厄災を防ぎたい、命を守りたいとの願いに応えるのが俱生神月守である。私たちは自分の知恵も働きにも限界がある。限界を超えた時、俱生神様が必ず救って下さるのである。

人に俱生神月守を勧めて、その人が救われると、知らぬ間にその功德が自分に帰って来る。それが信仰の功德である。

月守りをみんなで持ちましょう

俱生神月守りは単なる気休めのお守りではありません。正確には俱生神といって、同生天・同名天の二人の神様を一緒に云います。

《同生天》は身の危険を護って下さる神様です。

《同名天》は生活を護って下さる神様です。

お釈迦様のお説きになった華嚴経に詳しく書かれておりますが、人が命を宿した時から命を終えるまで、一生離れず護り通す神様です。日蓮大聖人様も「一身身に添えし二天」とおっしゃっております。あなただけの俱生神はあなただけを護り、他の人には関係ありません。他の人にも各々の俱生神が護っているのです。当人だけの護りに専念するのです。

月守りはその契りの符（あかし）です。

月守りを毎月交換するのは、先月の御守護に対し感謝の念を示し、更に新たなる御守護の力をいただくためです。

「心の固きによりて神の護り則ち強し」との大聖人の教えのようにお題目を唱えて祈りを加えれば、願いは確実に成就するのです。だれもが持つことができます。月守りを持って願いが叶ったという人、大震災の突然の災難から助かった人、なんとなく聞こえた声に従って行ったら津浪に遭わなくて助かったという人、すんでの処で事故に遭わなかった人等、多くの様々な体験をされた方がいます。貴方も身を守り、幸運が得られるよう持つてみませんか。（月・三百円です）





仙寿院・日顕寺どちらの行事も自由に参加できます。檀家・信者に限らず、どなたでも行事に参加やお参りができます。遠慮しないで一度参加してみませんか。

## ☆仙寿院の行事のお知らせ

### 9月の行事

秋彼岸大法要 9月23日（秋分の日） 午後1時

塔婆供養とご法話、彼岸会法要後は水子霊のため、仙寿観音様前でご回向いたします。お塔婆の申し込みは9月20日までをお願いします。当日は混雑しますので出来るだけお早めに！参拝者皆様にご法要後、お供物のお彼岸団子が配られます。家族で分け合ってくださいませ。ペット墓地「愛憐墓」でもご回向いたします。

### 10月の行事

10月盛運祈願祭 10月 1日（金曜日） 午後1時30分

毎月一日に行っております。運が開けるようご祈願と、お守りの交換を行います。祈願後、月例法話があります。どなたでも参加できます。一度参詣しませんか。

### 11月の行事

11月盛運祈願祭 11月 1日（月曜日） 午後1時30分

毎月一日に行っております。運が開けるようご祈願と、お守りの交換を行います。祈願後、月例法話があります。どなたでも参加できます。一度参詣しませんか。

お会式とお逮夜唱題行 11月 7日（日曜日） 午前11時より

日蓮大聖人様第740遠忌法要とご法話・お加持（ご祈祷）があります。詳細はまだですが、大聖人様へのご報恩の行事です。心がけておいて下さい。前日の6日（土）午後4時から唱題行を行います。コロナ感染対応をして行う予定です。

☆お問い合わせ・申し込みは仙寿院寺務所へ TEL 22-1166 Fax 22-1150  
メールでも結構です。E-mail : senjyuin@juno.ocn.ne.jp

## ☆日顕寺の行事のお知らせ

9月信行会 9月18日（土曜日） 午後1時 於・日顕寺

10月信行会 10月16日（土曜日） 午後1時 於・日顕寺

日顕寺お会式 11月13日（土曜日） 午前11時 於・日顕寺

星祭とお焚上げ 12月19日（日曜日） 午前11時 於・日顕寺

# ◇秋彼岸塔婆供養申込書

【大塔婆・二千元 小塔婆・一千元 水子供養・一胎二千元】

水子供養の申込欄（戒名または俗名。ないときは水子の親の名）	⑩											戒名 または 俗名
	⑨											施主名（塔婆をあげる方の名）
	⑧											
	⑦											
	⑥											
	⑤											
	④											
	③											
	②											
	①											
	①											

塔婆	大 本 ・ ・ 小 本	円
水子供養	胎	円
布施		円
合計		円